



TOYODA GOSEI

News Release

2024年5月16日

～カーボンニュートラル実現に向けた再エネ利用拡大の取り組み～ バーチャル PPA を豊田通商と締結

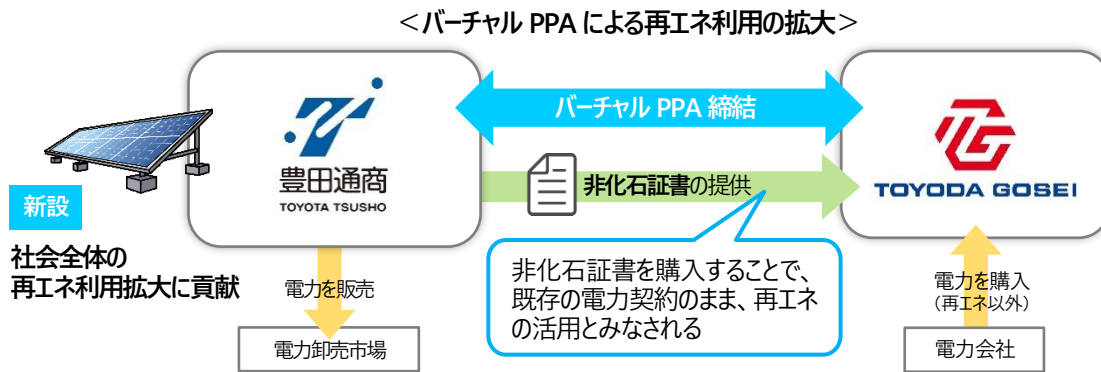
豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長 兼 CEO:齋藤克巳)は、再生可能エネルギー(以下、再エネ)の利用拡大のため、再エネ調達の契約(バーチャル PPA^{※1})を豊田通商株式会社(本社:名古屋市、取締役社長:貸谷伊知郎)と締結しました。

バーチャル PPA は、再エネの発電事業者などから直接、非化石証書^{※2}を購入する新しい再エネの調達手段です。本契約で、当社は、豊田通商が新設した太陽光発電所で創出される予定の年間約 607 メガワット時(CO₂削減効果 年間約 274 トン)分の非化石証書を長期にわたって購入し、自社の再エネ利用を拡大します。なお、本契約に基づき発行される証書は、再エネの発電設備の新設を促す効果(追加性)があるため、社会全体の再エネの普及にも貢献します。

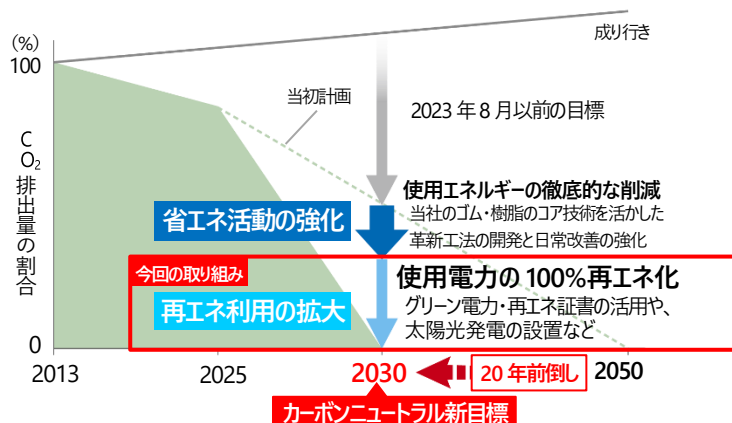
当社は、自社の生産活動などで発生する CO₂ 排出量(スコープ 1・2)について、2023 年 8 月にカーボンニュートラル実現時期の 2030 年への前倒しを宣言し、「生産技術革新と日常改善による省エネ」と「電力の再エネへの転換」をより加速して進めています。再エネへの転換においては、今回のバーチャル PPA の他に、自社での太陽光発電やグリーン電力・再エネ証書の活用などにも取り組んでおり、多様な手段を最適に組み合わせて再エネの利用を拡大しています。

※1 Power Purchase Agreement(電力購入契約)。発電事業者から直接再エネを購入する契約形態で、10 年以上の長期契約が一般的。

※2 「CO₂を排出しない」という再エネが持つ価値(環境価値)を証書化したもの。調達した証書分は再エネの利用実績とみなされる。



<2030 年までの CO₂ 削減ロードマップ(イメージ)>



お問い合わせ先：豊田合成(株) 経理部 大榮・清水 Tel. 052-400-5131